

## 岩手県公衆衛生組合連合会長表彰受賞 地域の公衆衛生に尽力

金ケ崎町公衆衛生組合連合会長の小野寺邦男<sup>おのでらくに お</sup>さんは、地域の公衆衛生に尽力したとして、岩手県公衆衛生組合連合会長表彰を受賞しました。小野寺さんは、平成25年度から藤巻公衆衛生組合長を務め、平成29年度からは金ケ崎町公衆衛生組合連合会長としても活躍しています。小野寺さんは「地域の皆さんに助けられてここまでできた。受賞は大変うれしい」と話していました。



高橋町長に受賞報告に訪れた小野寺さん（中央）

## 社会福祉事業功労者に対する県知事表彰受賞 長年にわたり社会福祉事業の推進に貢献

金ケ崎町身体障害者福祉協会理事の鈴木伸也<sup>すずきしんや</sup>さんと、特別養護老人ホーム友愛園園長の小野寺正治<sup>おのでらしょうじ</sup>さんは、長年にわたり社会福祉の推進に貢献したとして、社会福祉事業功労の県知事表彰を受賞しました。鈴木さんは「いろいろな人の支援で名誉ある賞をいただいた。自分より受賞がふさわしい人がたくさんいる。会員が減少しているので活動を盛り上げていきたい」と話していました。



受賞報告に訪れた鈴木さん（中央右）と小野寺さん（同左）

## 瑞宝双光章受章（故・高橋忠男<sup>たかはしただ お</sup>さん） 教育の振興に尽力

町立三ヶ尻小学校校長などを歴任した故・高橋忠男<sup>たかはしただ お</sup>さんは、長年にわたり教育の振興に貢献したとして瑞宝双光章を受章しました。11月16日に行われた伝達式では、妻の美智子<sup>みちこ</sup>さんと息子の浩幸<sup>ひろゆき</sup>さんが出席し表彰状を受け取りました。浩幸さんは「長い間地域の皆さまに支えられて受章した。父は大変喜んでいると思う。みなさまに感謝申し上げます」と話していました。



表彰状を手に取る美智子さん（前列左）と浩幸さん（同右）

## 岩手県卓越技能者受賞 プレス機の保守保全や改善能力の高さ評価

トヨタ自動車東日本(株)岩手工場成形プレス工の畠山孝<sup>はたけやまたかし</sup>さんは、優れた金型製造とプレス機の保守保全と改善能力を有しているとして、岩手県卓越技能者を受賞しました。11月17日に受賞報告に訪れた畠山さんは「周りの人に助けられて受賞できた。受賞することで周りの励みになればうれしい。今後は後輩たちの意欲がもっと上がるようにアドバイスしていきたい」と話していました。



受賞報告に訪れた畠山さん（左）

# 変わる、地域づくり

番外編

昨年度、連載したこのコーナーでは、過渡期にある地域づくりの取り組みを、時代に併せて見直す必要性について考えてきました。連載の終了と同時期、新型コロナウイルス感染症が世界中に広がり、日本でも感染者や発症者が増加してまいりました。新型コロナウイルスの感染拡大により、地域づくりの現場でも様々な行事が中止・規模縮小する事態となり、これまで「止めることは難しい」と思われてきた行事が、外的な要因により瞬く間に中止となる状況になりました。

## コロナ禍でも続けられてきた 地域活動

新型コロナウイルス感染症が確認された初期は、多くの事業が中止となりましたが、3密の回避など「新しい生活様式」の中で活動が徐々に再開されていきました。新型コロナウイルスの影響を受けながらも活動が行われている事業を見ると、そのほとんどが日々の暮らしに必要なものであることが分かります。

本来の自治会活動は「個人では解決が難しい事を、みんなと一緒にやる事で解決する」連帯活動が中心になりますが、コロナ禍でも、地域の中での助け合いが必要な事業が再開されているようです。

活動が再開（継続）したもの	活動を中止（縮小）したもの
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミ、リサイクル</li> <li>・地域の草刈り</li> <li>・防災訓練</li> <li>・スクールガード</li> <li>・高齢者サロン、ゆいっこハウス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会総会、役員会</li> <li>・運動会</li> <li>・敬老会</li> <li>・その他の交流事業、親睦事業</li> </ul>

## ビフォーコロナに戻るのか、 アフターコロナへと進むのか

季節は冬を迎え、自治会などでは新しい役員選出や来年度の事業や予算を検討する時期となりました。

来年度の事業を計画するにあたり、新型コロナウイルス以前（ビフォー）に戻るのか？新型コロナウイルス以降（アフター）を目標とするのか、頭を悩ませている人も多いのかもしれない。

役員のみならず手不足や高齢化、勤務形態の変化等による行事への参加率の低下など、これまでも挙げられていた地域づくりの課題について、今年立ち止まり、考えるタイミングとなりました。

来年度に向けて、地域の中で改

めて話し合いを進めてみてはいかがでしょうか。地域づくり推進室も、地域の課題解決に向けた話し合いの支援などをしていますので、お気軽にお声がけください。

● 問い合わせ先 ●

中央生涯教育センター地域づくり推進室（☎ 44-3123）